

## 地域医療における研修

### 1 当院の地域医療研修の日程

地域医療の研修期間は2年目における研修のうちの1ヶ月(4週間)である。  
研修は、下記臨床研修協力施設から選択し、組み合わせて1ヶ月研修する。

### 2 各施設における研修の内容

(凡例 目的:研修の目的 方法:研修の目標・目的達成のための方略・方法)

#### ■岡部医院

目的 在宅緩和ケアの実際について学び、在宅緩和ケアの視点を持つ事を目標とする。

方法 在宅緩和ケア医と同行し、患者さんの診療の実際を学んでいく。

#### ■羽二生クリニック

目的 内分泌疾患と内分泌学について学び、患者さんを幅広い視野から診療できることを目標とする。

方法 多様な内分泌疾患の患者さんと接し、内分泌学及びそれと関連した事項を学び、学術的研究のアプローチ方法を学ぶ。

#### ■光ヶ丘スペルマン病院

目的 ホスピスの現場で医師とともに行動し、ケアの概要を把握し、コミュニケーションスキルや症状マネジメントの実際を学ぶとともに、チームを構成する各専門職による講義、ミーティングなどを通してチームケアを理解し、また、ケアの継続について学ぶ。

方法 診療介助、応援、チームカンファレンスへの参加など。

#### ■仙台ホームケアクリニック

目的 個人宅及び施設(老人ホームやグループホーム等)を訪問することにより、地域の現実を理解する。(高齢化社会の実情の把握)。

方法 院長とともに、訪問診療を行う。

#### ■原田乳腺クリニック

目的 乳腺と甲状腺の疾患について学び、基本的な診察・検査方法を習得する。

方法 外来診察を通し、乳腺・甲状腺疾患及びそれに関連する事項を学ぶ。(新患診察、マンモグラフィ読影、超音波検査手技、穿刺吸引細胞診の手技など)

#### ■宏人会木町病院及び中央クリニック

目的 透析医療の実施研修

方法 透析回診、PTA実習、処置など

#### ■JR仙台病院

目的 地域医療体制を理解するとともに、患者・家族とのコミュニケーションを通じて、個人の尊厳を保持した適切な医療を提供する能力を養い、また地域医療ネットワークの中での良好なチーム医療を行う能力を身に着ける。

方法 主に内科系疾患について一般的な知識に加え、高齢者特有の症状を理解し、また治療法を学ぶ。高齢者医療全般を理解し、日常隠れた病気の診療やリハビリの診療について学ぶ。介護老人保健施設の視察。

#### ■塩竈市立病院

目的 地域医療の役割、医療連携の重要性を理解し、様々な医療資源から患者にとってより良い医療を提供するための判断力、視野の広さを身に着ける。

方法 在宅医療、離島診療、地域包括ケア、療養病棟、他職種連携実習等、地域医療について様々な視点から学ぶ。

#### ■その他の研修協力施設(地域保健分野も含む)

公立黒川病院、イムス明理会仙台総合病院、土橋内科医院、仙台往診クリニック、宮城県赤十字血液センター、宮城県対がん協会がん検診センター、若林区保健福祉センター